

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。今冬は患者数の増加が予測されており、来月以降の推移に注意が必要です。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は1,632件（前月比0.88、前年同月比0.58）で、前月に比べ減少していました。増加が目立った感染症は水痘、A群溶連菌咽頭炎、咽頭結膜熱で、減少した感染症は流行性耳下腺炎、感染性胃腸炎、手足口病でした。詳細は疾患別傾向をご覧ください。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症： 報告数は135件（前月比1.0、前年同月比1.0）で、前月とほぼ同水準の患者数でした。今後患者数の増加が予想されます。水俣（9.00）から多く報告されました。
2. 咽頭結膜熱： 報告数は23件（前月比1.6、前年同月比1.6）でした。前月は減少していましたが、10月は増加に転じました。年齢別では1歳にピークがありました。
3. A群溶連菌咽頭炎： 報告数は72件（前月比2.8、前年同月比1.7）で、前月に比べ増加しています。年齢別では6歳が最多でした。御船（18.33）から多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎： 報告数は677件（前月比0.8、前年同月比0.8）で、前月より減少しました。1歳をピークに全ての年齢層で患者が発生しています。有明（46.20）、菊池（24.60）から多く報告されました。
5. 水痘： 報告数は28件（前月比4.0、前年同月比2.0）でした。今月は急増して前年同月を上回りましたが、前々年同月の水準には達しません。菊池（3.40）から多く報告されました。
6. 手足口病： 報告数は316件（前月比0.8、前年同月比0.3）でした。前月から減少し、今シーズンの流行は終息しつつあると考えます。年齢別では1歳が最多で、1～3歳で全体の8割（254/316）を占めました。菊池（22.80）からの報告が多くなっています。
7. 伝染性紅斑： 報告数は3件（前月比1.0、前年同月比3.0）でした。今年の患者数は低水準で続いています。
8. 突発性発疹： 報告数は101件（前月比0.8、前年同月比0.7）で、前月から減少しました。年齢別では1歳に発症のピークがあります。菊池（6.20）から多く報告されました。
9. ヘルパンギーナ： 報告数は131件（前月比0.9、前年同月比0.5）で、前月とほぼ同水準です。年齢別では1歳をピークに、1～3歳で全体の7割（91/131）を占めました。菊池（10.20）から多く報告されました。
10. 流行性耳下腺炎： 報告数は1件（前月比0.2、前年同月比0.1）でした。今年は例年よりも低水準が続いています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数8件（前月比0.7、前年同月比0.4）で、前月比・前年同月比共に減少しています。熊本6件、有明・天草各1件の報告です。年齢別では40～49歳、50～59歳の年齢層に各2件、10～14歳、20～29歳、30～39歳、70歳以上に各1件の報告です。

## STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数64件（前月比0.7、前年同月比0.8）で、前月比・前年同月比共に減少しています。男女別では男性が43件で、女性は21件でした。年齢別では男性が15歳～64歳と幅広い年齢層に、女性は15歳～49歳にみられています。地区別は熊本が51件で、有明5件、宇城が3件、菊池が2件、八代・御船・天草が各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数21件（前月比1.4、前年同月比1.1）で、前月比・前年同月比共に増加しています。男女別では男性が14件、女性が7件でした。年齢別では男性が15歳～70歳以上に、女性は25歳～70歳以上にみられています。地区別は熊本が12件、八代が6件、菊池が2件、宇城が1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は6件（前月比1.0、前年同月比0.5）で、前月とは増減無しで前年同月からは半減しています。男女別では男性が5件で女性が1件でした。年齢別では男性は25歳～49歳に、女性は50歳～54歳にみられています。地区別では熊本が5件、宇城が1件でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は24件（前月比0.8、前年同月比0.8）で、前月比・前年同月比共に減少しています。男女別では男性が21件で、女性は3件でした。年齢別では男性が15歳～54歳、女性は15歳～29歳にみられています。地区別は熊本が18件で、宇城が4件で、八代と有明が共に1件でした。

## 基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数は15件（前月比0.9、前年同月比1.3、男女比11：4）と減少傾向でした。熊本8件、山鹿3件、阿蘇2件、有明・天草各1件でした。年齢分布としては70歳以上7件、65～69歳3件、60～64歳2件、0歳・15～19歳・50～54歳各1件と高齢者に多く認められました。  
▼例年並みの報告数でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数は2件（前月比0.5、前年同月比0.7、男女比1：1）と減少傾向でした。熊本2件でした。年齢分布としては1～4歳2件でした。  
▼例年並みの報告数でした。

### 3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は1件（前月比-、前年同月比-）で増加傾向でした。阿蘇1件で、年齢分布としては70歳以上1件でした。

▼例年に比べて若干多い報告数でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比-、前年同月比-）で増加傾向でした。熊本1件で、年齢分布としては20-24歳1件でした。  
▼例年並みの報告数でした。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数は2件（前月比-、前年同月比-）で増加傾向でした。熊本2件で、年齢分布としては60-64歳・70歳以上各1件でした。  
▼例年に比べて多い報告数でした。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数でした。

4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼昨年度に引き続き報告がありません。

### 5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：

報告数は1件（前月比-、前年同月比-）で増加傾向でした。熊本1件で、年齢分布としては0歳1件でした。

▼例年より若干多い報告数でした。

## 届け出対象感染症

1類感染症：報告はありませんでした。

2類感染症：結核 18件

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 10件

4類感染症：レジオネラ症 5件

日本紅斑熱 3件

日本脳炎 3件

5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1件

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件

後天性免疫不全症候群 1件

侵襲性肺炎球菌感染症 1件

播種性クリプトコックス症 1件

破傷風 1件

梅毒 14件

新型インフルエンザ等感染症：

新型コロナウイルス感染症 12,226件